

浦尻貝塚史跡公園整備事業基本計画の概要

1 事業概要

(1) 浦尻貝塚の概要

- ・所在地 小高区浦尻字南台ほか
- ・指定の種別 国指定史跡（平成18年指定、平成21年追加指定）
- ・主な内容
縄文時代のなりわいと自然環境をつたえる貝塚を持つ大規模集落

(2) 計画面積 87,718.72㎡

- ① 指定地 71,510.74㎡ 平成21年度までに取得済。
- ② 指定地外 16,206.98㎡
 - 1) 8,708㎡ 平成21年度までに取得済。
 - 2) 5,836.98㎡ 防災集団移転元地（市有地）を移管予定。
 - 3) 1,663㎡ 防災集団移転元地を一体的に利用するために必要な土地を取得する。

2 目的

浦尻貝塚の保存・活用により、地域文化の基盤である縄文時代の人のくらしと自然との関わりを学び、体感できるとともに、災害の歴史も伝える場を創出する。また、浦尻貝塚を通じた市民の文化活動を促進し、地域が誇りを持つ南相馬の文化的魅力を発信することにより、災害を乗り越える新たな地域づくりを促進する。

『海風と森がふれ合う「縄文ムラ」の体感』

- ・ 地域の原点となる縄文時代の人の営みと自然にふれ、学び、体感・体験する場
- ・ 地域特有の歴史空間、自然、景観を地域が守り、憩い楽しむ市民の文化活動の場
- ・ 南相馬の文化的魅力を発信する場
- ・ 災害の歴史を伝え、災害を乗り越える地域づくりの拠点の場

3 事業の経緯

(1) 東日本大震災前（平成 18～22 年度）の事業の経緯

指定地・指定地外公有化、基本計画、基本設計、一部実施設計完了
土地収用法事業認定済み

※ 震災前の事業は文化庁補助金のほか、電源地域振興・地域資源活性化事業助成金を財源として実施した。

(2) 東日本大震災後の事業の経緯

① 基本計画改訂 平成 29～30 年度

② 市民検討会（公募市民 33 人）

震災前に組織していた浦尻貝塚史跡公園づくり市民検討会を平成 28 年度から再開し、整備内容の見直しを検討した。平成 30 年度には史跡において手作りの看板を設置した。

③ 浦尻貝塚整備検討委員会（委員 4 人、文化庁・県文化財課指導）

平成 29 年度から、考古学、都市計画、史跡整備の有識者からなる委員会を組織し、整備計画について検討を重ねた。

4 主な整備内容

(1) 指定地内

貝層展示施設（貝塚を現地で展示する）、竪穴住居・平地式建物の復元、土器捨て場の復元、園路等

(2) 指定地外

ガイダンス施設建設（四阿）、駐車場、トイレ

5 浦尻貝塚の整備内容

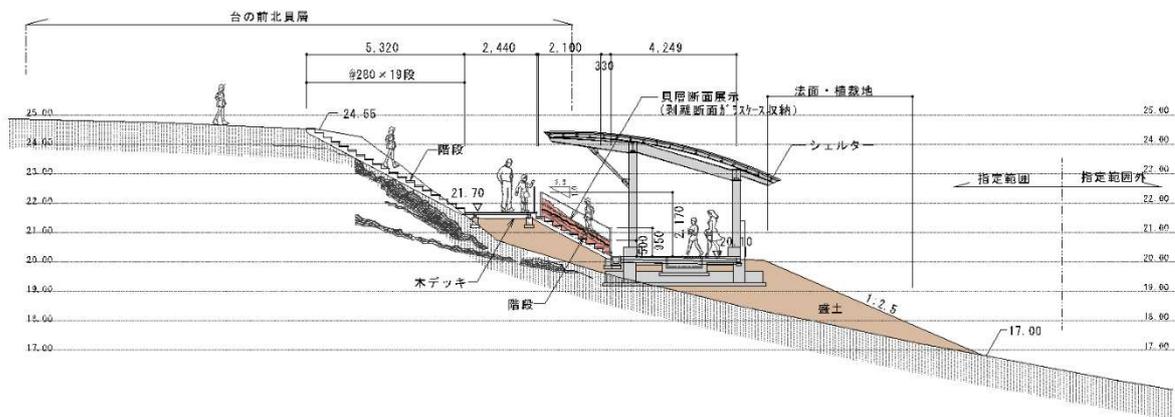
(1) 活用に関する基本方針

- ① 貝塚を中心とした縄文のくらしの場の魅力的な表現
- ② 史跡が伝える縄文人のくらしの情報発信、体験・学習活動
- ③ 史跡を核とした縄文風景づくり
- ④ 市民が活動する公園づくり
- ⑤ 南相馬市内の史跡や自然などの地域資源、社会教育・観光施設との連携
- ⑥ 大災害を受けた地域の史跡として、地域の復興と一体的な活用形態を公開

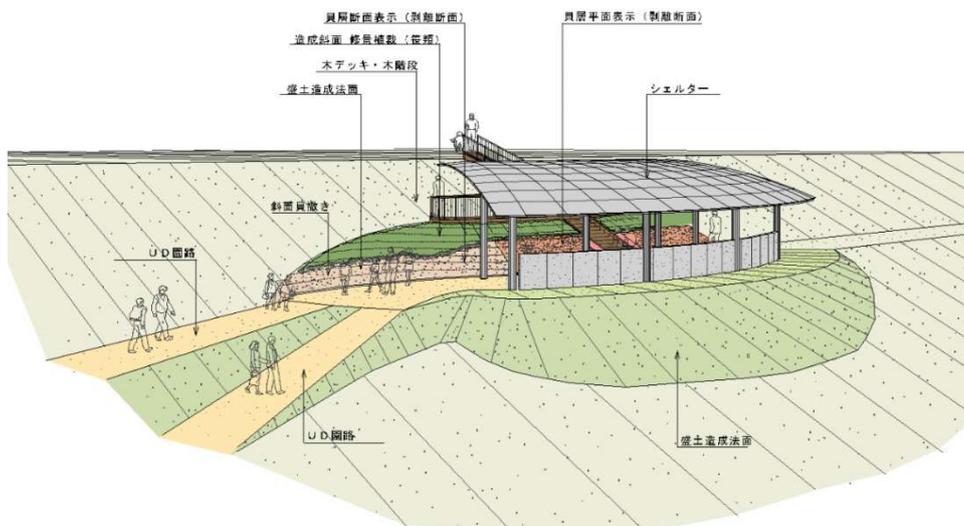
(2) 史跡公園の主な整備内容

① 貝層展示施設

地下に埋蔵されている貝塚を体感できるように、「縄文人」のみた貝塚の姿と形成過程について表現するため、貝層の立体剥ぎ取りの手法で展示する。



断面図 S=1:200



イメージスケッチ

② 貝層範囲の表示

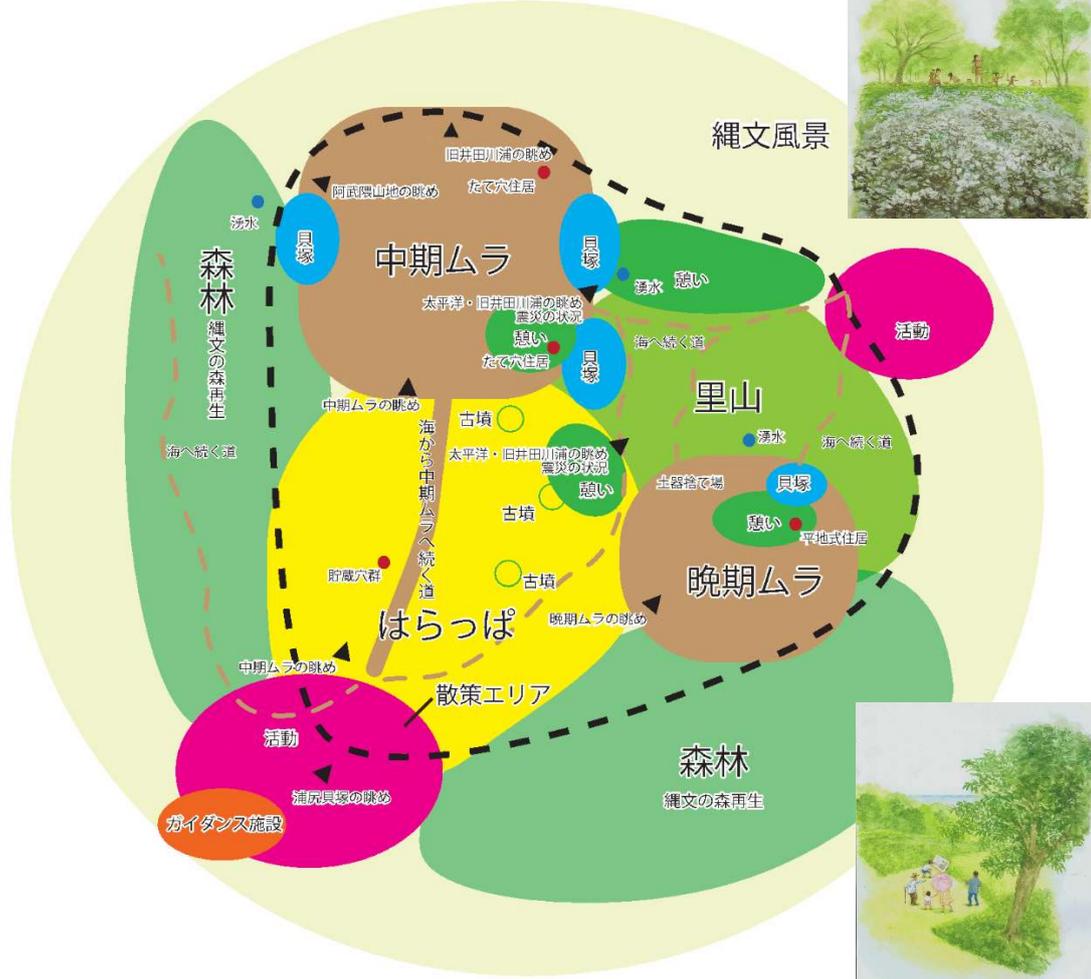
史跡の最大の特徴である貝層の分布を、地形に即して理解できるように見学の多様性を平面表示により確保するため、市民参加を得ながら行う。

- 1) 貝層範囲の植栽などのグランドカバーを行う平面表示
- 2) 貝層範囲に現生貝の散布による平面表示
- 3) 盛土等を行わず範囲を示す杭、目印等の表示



貝塚平面表示イメージ

史跡公園



史跡公園整備概念図



はらっぱ



住居イメージ



眺め



③ 復元建物

中期ムラ、晩期ムラの住まい、配置、立地を表現し、縄文の暮らしを身近にするために、中期（竪穴住居）、晩期（平地式住居）の住居を復元する。

④ 管理運営施設

浦尻貝塚への来訪者が快適に見学できるための管理運営および便益施設について、以下のとおり設定する。

1) ガイダンス施設

- ・ 規模（雨宿りできる規模）
常時 120 人×1 人あたり面積 1.3 m²（小学校教室基準）＝156 m²
- ・ 展示室は設けないが、学校等の利用に供する展示パネル、ジオラマ等を設置する。
- ・ 120 人程度が休憩や座って説明を受けるベンチ（長いす）を設置する。



ガイダンス施設イメージ

2) トイレ

- ・ 常時は学校利用を最大人数として設定する。
- ・ 障害者対応のトイレを別途 1 穴設置する。
- ・ 設置例：女子便器（2 穴）男子大便器（1 穴）男子小便器（1～2 穴）障害者用（1 穴）
- ・ イベント時は仮設トイレを導入

3) 駐車場

- ・ 常時 学校 4 クラス分 大型バス：4 台
- ・ 常時 休日 同時利用 50 人 車：30 台
- ・ イベント時 最大利用 560 人 車：172 台※多目的広場を利用する。

4) 倉庫

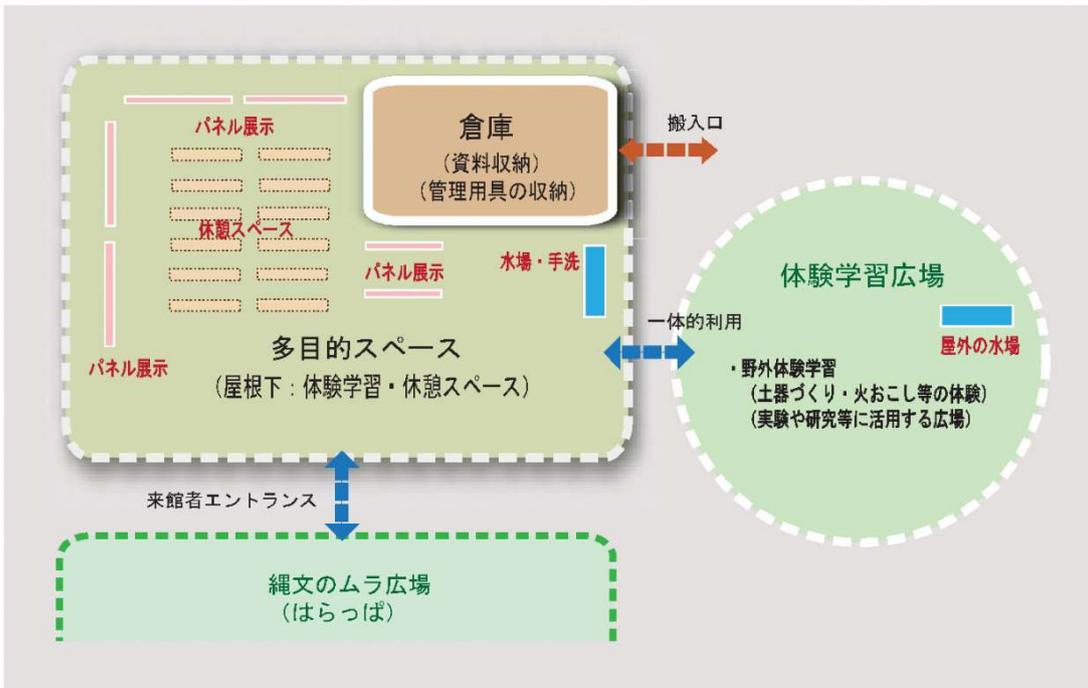
- ・ ガイダンスの補完施設として倉庫を設置する。
- ・ 床面積概ね 5.5m×2.3m程度とし、園内管理機材収納用とイベント等資材収納用の 2 棟を設置する。
- ・ 設置にあたっては、史跡の景観を阻害しないよう植栽や柵等で遮蔽する。

ガイドンス施設計画の概要

■ ガイドンス施設に求められる機能

- インフォメーション機能……園内利用案内や各種イベント等開催の案内
- 展示機能……パネル・ジオラマの展示
- 休憩・サービス機能……憩い・休憩の場の提供、飲食サービスの提供
- 体験・学習機能……来園者に提供する室内体験・学習メニュー
- 便益機能……水飲みなど利用者に対する利便施設を提供
- 保管機能……関連資料の収納や管理用具の収納

■ ガイドンス施設ゾーン配置



■ パネル展示イメージ



■ 屋外縄文体験 (火おこし) 風景



■ 屋外縄文体験 (土器づくり) 風景



浦尻貝塚史跡公園整備基本計画図



6 管理運営体制

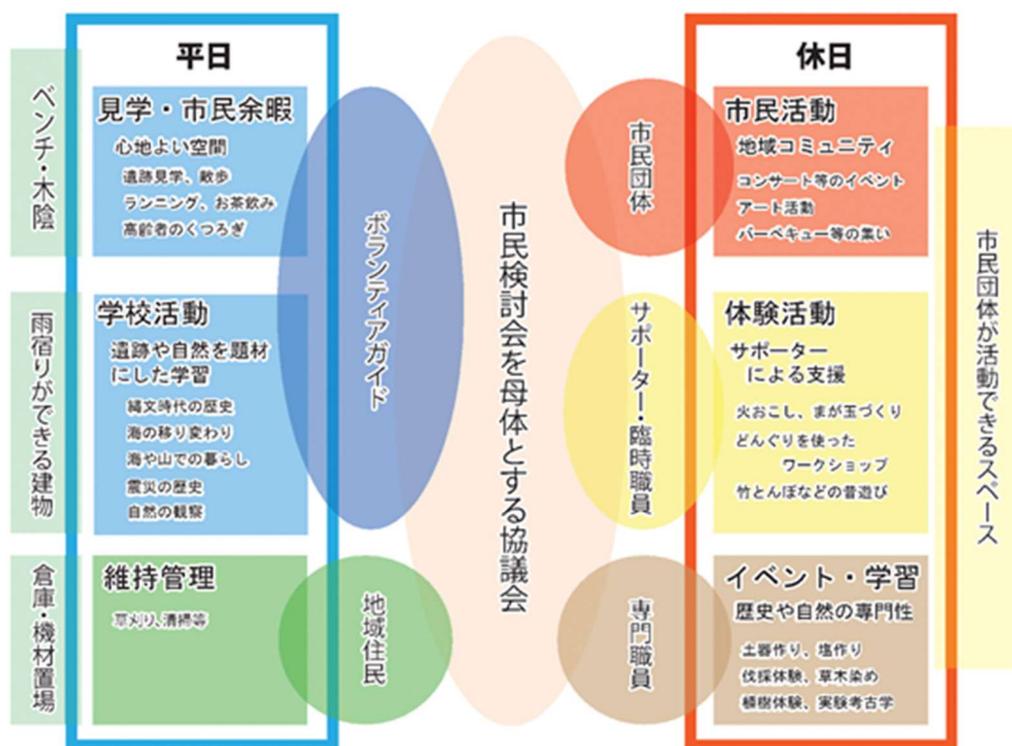
(1) 利用者数の推計

学校活動	800人	
市民見学	4,800人	
市主催のイベント、講座	800人	
補助者付き体験活動	1,500人	
市民の自主的活動	1,000人	
市民レクリエーション	1,000人	
合計	9,900人	≒10,000人

(2) 運営体制

- 常駐職員は配置しない。
- 3～11月にかけての休日に職員等を配置して運営する。
- 平日は申し込み制により案内等を行う。実施にはボランティアの活用を推進する。
- 臨時職員、ボランティア、地域住民からなる運営の主体となる協議会を設置する。

平日・休日の取り組みと職員・施設の考え方



(3) 主な公開活用の取り組み

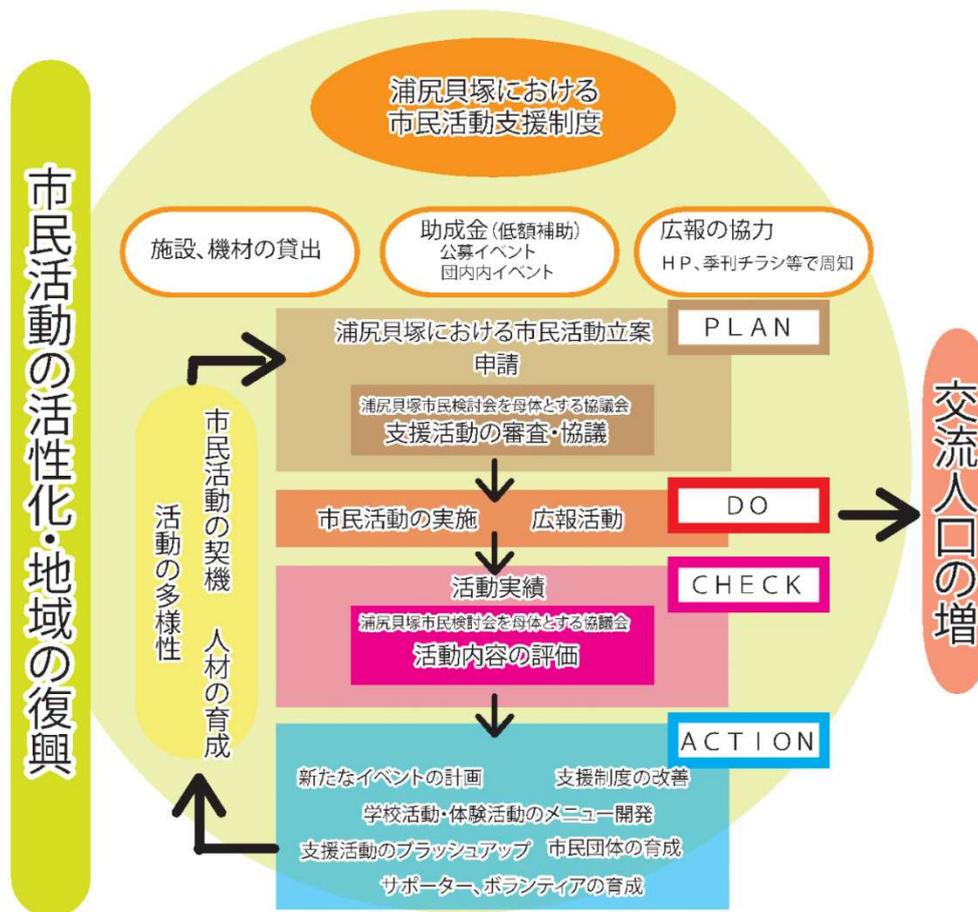
① 市民活動の推進

浦尻貝塚の公開活用については、市民参画が重要な役割を占める。この市民の参画を促すために、整備実施前から、市民活動の支援を行っていく。

主な支援内容（案）

- ・ 浦尻貝塚における市民活動への助成
- ・ 浦尻貝塚における市民活動への資材の貸し出し、場所の提供
- ・ 浦尻貝塚における市民活動への広報等活動支援

市民活動支援（案）



② 学習への対応

- ・ 学年別の指導者向けの手引きの作成
- ・ 他の史跡、博物館等と連携し、年代別、地域別の市内学校等の文化遺産を活かした学習メニューの設定
- ・ 年代別、地域別の学習ワークシートの作成「(仮) 浦尻貝塚通信」やホームページにおける学習成果の公開

7 整備スケジュールならびに概算事業費

① 整備スケジュール（案）

平成31年度 基本設計

令和2年度 実施設計開始

令和3年度 整備工事開始

令和4年度 暫定供用開始（ガイダンス施設、貝層展示施設）

令和5年度 工事完了

令和6年度 全体供用開始（堅穴住居等）

② 整備にかかる概算事業費

1) 整備事業費総額 450,103 千円

内訳

整備工事 364,243 千円

設計調査費等 85,860 千円

2) 予定する財源

文化庁補助 225,051 千円 補助率 1/2

合併特例債 203,677 千円

※ 実施設計以後事業費（428,793 千円）から、補助事業費（214,396 千円）を除く経費（214,397 千円）の 95%

一般財源 21,375 千円

(※：金額は消費税込み)

区分		項目	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	事業費 計	
設計調査費	設計・測量	基本設計	15,245千円						15,245千円	
		実施設計		8,250千円	8,250千円	8,250千円	4,400千円		29,150千円	
		境界杭設置		18,200千円					18,200千円	
	発掘調査	発掘調査	6,085千円	2,500千円	2,500千円				11,085千円	
		土地取得費			2,200千円				2,200千円	
その他経費			2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	10,000千円		
設計調査費・土地取得費他 小計			21,310千円	30,950千円	14,950千円	10,250千円	6,400千円	2,000千円	85,860千円	
整備工事	指定地内	土木造園工事	支障木伐採		2,200千円				2,200千円	
			盛土造成工			10,714千円			10,714千円	
			給水設備工			11,760千円			11,760千円	
			雨水排水設備工			2,656千円			2,656千円	
			電気設備工				1,420千円		1,420千円	
		建築工事	園路広場整備工					10,928千円		10,928千円
			サービス施設整備工						19,105千円	19,105千円
			展示施設整備工						6,788千円	6,788千円
			貝層展示施設				77,000千円			77,000千円
			竪穴住居復元施設				13,750千円		13,750千円	27,500千円
	指定地外	土木造園工事	敷地造成工			4,500千円			4,500千円	
			植栽工					3,517千円	3,517千円	
			給水設備工			11,058千円			11,058千円	
			雨水排水設備工			1,322千円			1,322千円	
			汚水排水設備工			441千円			441千円	
指定地外	建築工事	電気設備工				11,792千円		11,792千円		
		園路広場整備工				23,660千円		23,660千円		
		サービス施設整備工				8,908千円		8,908千円		
		ガイダンス施設			82,224千円			82,224千円		
		ガイダンス施設展示・備品				33,000千円		33,000千円		
指定地外 合計				2,200千円	25,130千円	92,170千円	38,428千円	25,893千円	183,821千円	
整備工事費 計				2,200千円	124,675千円	145,870千円	65,605千円	25,893千円	364,243千円	
事業費 合計			21,310千円	33,150千円	139,625千円	156,120千円	72,005千円	27,893千円	450,103千円	
園内維持管理		草刈・除草	草刈・除草（委託管理）							
		苗木植栽（縄文の森）	市民参加							
イベント・市民参加活動等			イベント・市民参加活動等							